

オミクロン株対応2価ワクチンの有効性

オミクロン株対応2価ワクチンの効果

■従来型ワクチンを上回るオミクロン株への効果が期待されています。

オミクロン株対応ワクチンの追加接種には、オミクロン株の成分が含まれるため、従来型ワクチンと比較した場合、オミクロン株に対する重症化予防効果・感染予防効果・発症予防効果それぞれに寄与する免疫をより強く誘導します。

そのため、オミクロン株に対して、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果とともに、持続期間が短い可能性があるものの、**感染予防効果や発症予防効果も期待されています。**

■2価のワクチンであることにより、様々な新型コロナウイルスに反応します。

異なる2種類の抗原があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。

そのため、**今後の変異株に対して有効である可能性が、より高いことが期待されています。**

次の方も接種をご検討ください

■60歳以上の4回目接種済みの方

従来型ワクチンによる4回目接種をお済みの方も、**3カ月**が経過すればオミクロン株対応ワクチンを接種できるようになりました。従来株ワクチンの効果は時間の経過とともに減退していきますので、重症化予防のため、接種を検討ください。

■オミクロン株に感染した方

蓄積されつつあるエビデンスによると、より感染性の高い変異株が流行している状況下においても、**感染後のワクチン接種が、その後の感染に対する防御をさらに高めるとされています。**体調が回復して接種を希望する際には、その治療内容や感染からの期間にかかわらずワクチンを接種することができます。

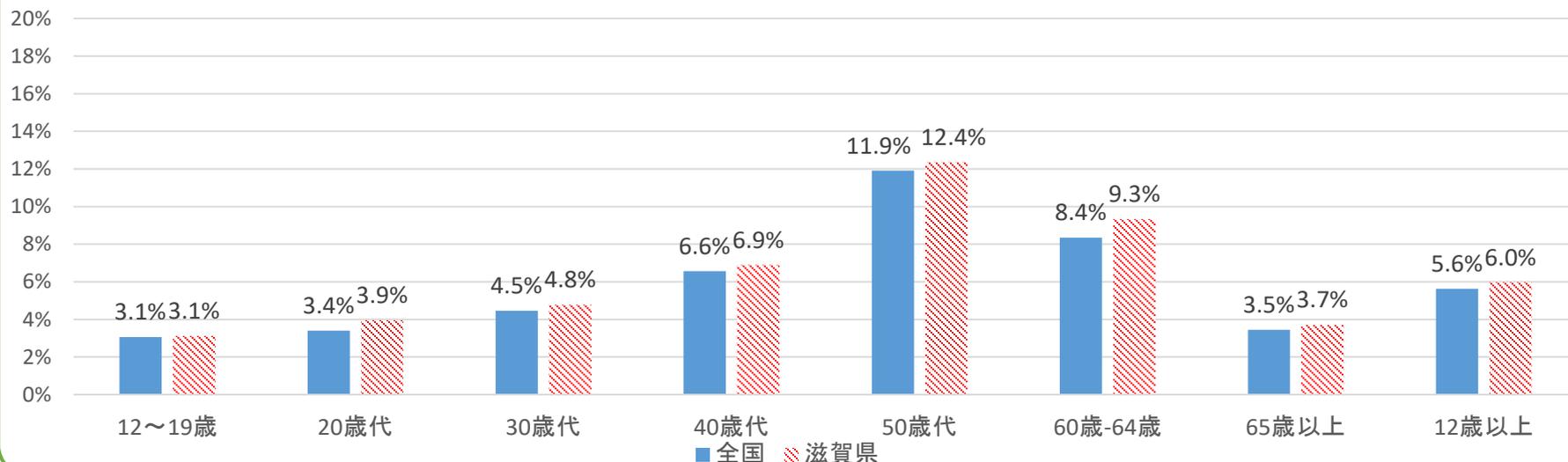


年末年始にかけての流行に備え、年内の接種をご検討ください。

オミクロン株対応2価ワクチンの年代別接種率の比較

令和4年10月31日時点

(1) 全国と滋賀県内のオミクロン株対応ワクチン接種率の比較(12歳以上)



(2) 滋賀県内の従来型ワクチン2, 3回目接種率とオミクロン株対応ワクチン接種率の比較(12歳以上)

